

2020年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年1月30日

上場会社名 山洋電気株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6516 URL https://www.sanyodenki.co.jp/
 代表者（役職名） 代表取締役兼社長（氏名） 山本茂生
 問合せ先責任者（役職名） 常務執行役員管理部門担当（氏名） 北村恵一（TEL）(03)5927-1020
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	52,222	△19.8	379	△93.8	367	△94.3	17	△99.6	17	△99.6	874	△67.5
2019年3月期第3四半期	65,147	△0.1	6,110	2.5	6,425	4.5	4,703	5.8	4,702	5.8	2,691	△65.4
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益									
	円 銭		円 銭									
2020年3月期第3四半期	1.41		—									
2019年3月期第3四半期	388.45		—									

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者帰属 持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	106,774	64,432	64,424	60.3	5,322.48
2019年3月期	106,304	64,832	64,824	61.0	5,355.20

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	55.00	—	55.00	110.00
2020年3月期	—	50.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	74,200	△12.4	1,800	△72.7	1,800	△73.9	1,300	△73.9	107.40	

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) , 除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	12,972,187株	2019年3月期	12,972,187株
2020年3月期3Q	867,938株	2019年3月期	867,181株
2020年3月期3Q	12,104,661株	2019年3月期3Q	12,105,188株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明, その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は, 当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており, 実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(会計方針の変更)	14
(セグメント情報等)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米中通商交渉が部分的に合意したものの、中国では1992年以降最低水準の経済成長率となるなど、停滞が続きました。日本経済は、世界経済の停滞にともない輸出が低迷する一方、設備投資は後半に持ち直し、全体としては概ね横ばいで推移しました。

そのような中で、当社グループの主要な販売市場である工作機械・ロボット・半導体製造装置などの業界においては、需要が伸び悩みました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上収益は52,222百万円（前年同期比19.8%減）となり、連結営業利益は379百万円（前年同期比93.8%減）、連結税引前四半期利益は367百万円（前年同期比94.3%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は17百万円（前年同期比99.6%減）となりました。

受注高は52,206百万円（前年同期比13.2%減）、受注残高は15,586百万円（前年同期比11.2%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

①日本

日本には、当社および連結子会社の山洋工業株式会社、山洋電気テクノサービス株式会社があります。セグメント売上収益は53,456百万円（前年同期比20.7%減）となり、セグメント損失は551百万円（前年同期はセグメント利益4,169百万円）となりました。

②北米

北米には、連結子会社のSANYO DENKI AMERICA, INC. があります。セグメント売上収益は5,931百万円（前年同期比21.6%減）となり、セグメント利益は23百万円（前年同期比94.8%減）となりました。

③ヨーロッパ

ヨーロッパには、連結子会社のSANYO DENKI EUROPE S.A. およびSANYO DENKI GERMANY GmbHがあります。セグメント売上収益は3,312百万円（前年同期比20.7%減）となり、セグメント利益は200百万円（前年同期比46.0%減）となりました。

④東アジア

東アジアには、連結子会社の山洋電気（上海）貿易有限公司、山洋電気（香港）有限公司、台湾山洋電気股份有限公司、SANYO DENKI KOREA CO., LTD.、上海山洋電気技術有限公司、山洋電気貿易（深圳）有限公司、中山市山洋電気有限公司、山洋電気精密機器維修（深圳）有限公司および山洋電気（天津）貿易有限公司があります。セグメント売上収益は6,535百万円（前年同期比30.3%減）となり、セグメント利益は116百万円（前年同期比76.4%減）となりました。

⑤東南アジア

東南アジアには、連結子会社のSANYO DENKI PHILIPPINES, INC.、SANYO DENKI SINGAPORE PTE. LTD.、SANYO DENKI INDIA PRIVATE LIMITEDおよびSANYO DENKI (THAILAND) CO., LTD. があります。セグメント売上収益は14,115百万円（前年同期比18.4%減）となり、セグメント利益は318百万円（前年同期比57.6%減）となりました。

また、事業部門別の営業概況は次のとおりです。

①クリーニングシステム事業

クリーニングシステム製品「San Ace」は、サーバや電源装置向けの需要が増加しました。また、半導体製造装置や検査装置、印刷装置向けの需要も増加しました。一方、ファクトリーオートメーション向けの需要は中国の急激な景気減速のため低調でした。

その結果、売上収益は16,778百万円(前年同期比6.0%減)、受注高16,332百万円(前年同期比7.7%減)、受注残高3,639百万円(前年同期比6.4%減)となりました。

②パワーシステム事業

パワーシステム製品「SANUPS」は、公共設備向けの需要が堅調に推移しました。一方、産業設備向けの需要は設備投資の先送りなどにより停滞しました。再生可能エネルギー市場では、自家消費・蓄電設備向けの需要は好調でしたが、全体としては低調でした。

その結果、売上収益は5,310百万円(前年同期比1.2%減)、受注高6,373百万円(前年同期比14.4%増)、受注残高2,894百万円(前年同期比43.7%増)となりました。

③サーボシステム事業

サーボシステム製品「SANMOTION」は、当第3四半期から5G通信サービスの開始、半導体産業の活発化により、半導体製造装置やロボット、実装機向けの需要に回復の兆しが見られました。一方、工作機械や射出成形機向けの需要は依然として低調でした。

その結果、売上収益は24,179百万円(前年同期比35.4%減)、受注高23,575百万円(前年同期比26.8%減)、受注残高7,432百万円(前年同期比25.6%減)となりました。

④電気機器販売事業

産業用電気機器、制御機器および電気材料は、医療向けの需要が堅調に推移しました。太陽光発電事業の需要も増加しました。鉄鋼関連事業は、設備投資案件の減少により需要が大幅に減少しました。

その結果、売上収益は4,537百万円(前年同期比41.1%増)、受注高4,677百万円(前年同期比33.0%増)、受注残高1,012百万円(前年同期比2.0%増)となりました。

⑤電気工事業

製鉄所構内の電気工事は、予備品、補修工事の需要が増加したことにより、堅調に推移しました。構外案件およびシステム案件の需要は、水処理および再生エネルギーを中心に、堅調に推移しました。

その結果、売上収益は1,416百万円(前年同期比9.3%増)、受注高1,248百万円(前年同期比7.3%増)、受注残高607百万円(前年同期比9.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して、資産合計は470百万円の増加、負債合計は870百万円の増加、資本合計は400百万円の減少となりました。

資産の主な変動要因は、営業債権及びその他の債権の減少3,072百万円、IFRS第16号「リース」の適用による使用权資産の増加2,399百万円、現金及び現金同等物の増加1,150百万円によるものです。

負債の主な変動要因は、営業債務及びその他の債務の減少1,905百万円、IFRS第16号「リース」の適用によるリース負債(非流動負債)の増加1,531百万円、借入金(流動負債)の増加1,053百万円によるものです。

資本の主な変動要因は、利益剰余金の減少686百万円、その他の資本の構成要素の増加290百万円によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、12,844百万円となり、前連結会計年度末より1,150百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の営業活動による資金の増加は、5,296百万円(前年同期間は1,332百万円の増加)となりました。これは主に、減価償却費及び償却費3,879百万円、営業債権及びその他の債権の減少額3,785百万円、営業債務及びその他の債務の減少額1,553百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の投資活動による資金の減少は、4,089百万円(前年同期間は6,765百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2,950百万円、無形資産の取得による支出1,270百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の財務活動による資金の増加は、166百万円(前年同期間は5,264百万円の増加)となりました。これは主に、長期借入による収入2,000百万円、配当金の支払額1,270百万円、長期借入金の返済による支出706百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年10月30日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	注記	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物		11,693	12,844
営業債権及びその他の債権		27,354	24,282
その他の金融資産		771	854
棚卸資産		22,493	22,535
その他の流動資産		1,282	913
流動資産合計		63,595	61,429
非流動資産			
有形固定資産		26,084	25,764
無形資産		4,624	4,994
使用権資産		—	2,399
投資不動産		1,503	1,503
その他の金融資産		9,413	10,227
繰延税金資産		682	310
その他の非流動資産		399	145
非流動資産合計		42,708	45,345
資産合計		106,304	106,774
負債及び資本			
負債			
流動負債			
営業債務及びその他の債務		16,228	14,322
借入金		9,097	10,151
リース負債		—	714
その他の金融負債		200	122
未払法人所得税等		357	33
その他の流動負債		2,106	1,799
流動負債合計		27,991	27,144
非流動負債			
借入金		5,899	6,694
リース負債		—	1,531
その他の金融負債		45	3
退職給付に係る負債		7,338	6,400
繰延税金負債		0	381
その他の非流動負債		195	186
非流動負債合計		13,480	15,197
負債合計		41,471	42,342

(単位：百万円)

	注記	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資本			
資本金		9,926	9,926
資本剰余金		11,460	11,460
利益剰余金		44,768	44,082
自己株式		△2,410	△2,413
その他の資本の構成要素		1,078	1,368
親会社の所有者に帰属する持分合計		64,824	64,424
非支配持分		7	7
資本合計		64,832	64,432
負債及び資本合計		106,304	106,774

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上収益		65,147	52,222
売上原価		48,533	42,080
売上総利益		16,613	10,142
販売費及び一般管理費		10,632	9,849
その他の収益		136	105
その他の費用		6	18
営業利益		6,110	379
金融収益		389	225
金融費用		74	238
税引前四半期利益		6,425	367
法人所得税費用		1,722	349
四半期利益		4,703	17
四半期利益の帰属			
親会社の所有者		4,702	17
非支配持分		0	0
四半期利益		4,703	17
1株当たり四半期利益			
基本的1株当たり四半期利益(円)		388.45	1.41

第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	注記	前第3四半期連結会計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
売上収益		20,713	17,883
売上原価		15,823	14,249
売上総利益		4,890	3,634
販売費及び一般管理費		3,507	3,129
その他の収益		24	24
その他の費用		3	10
営業利益		1,404	518
金融収益		79	135
金融費用		184	39
税引前四半期利益		1,299	614
法人所得税費用		388	105
四半期利益		910	508
四半期利益の帰属			
親会社の所有者		910	508
非支配持分		0	0
四半期利益		910	508
1株当たり四半期利益			
基本的1株当たり四半期利益(円)		75.19	42.03

要約四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期利益		4,703	17
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産		△1,668	578
確定給付制度の再測定		△594	608
純損益に振り替えられる可能性のある項目			
在外営業活動体の換算差額		251	△329
その他の包括利益合計		△2,011	857
四半期包括利益		2,691	874
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者		2,691	874
非支配持分		0	0
四半期包括利益		2,691	874

第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	注記	前第3四半期連結会計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
四半期利益		910	508
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産		△1,403	549
確定給付制度の再測定		△1,120	486
純損益に振り替えられる可能性のある項目			
在外営業活動体の換算差額		△452	394
その他の包括利益合計		△2,976	1,430
四半期包括利益		△2,066	1,938
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者		△2,066	1,938
非支配持分		△0	0
四半期包括利益		△2,066	1,938

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

(単位:百万円)

	注記	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
						その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定
2018年4月1日残高		9,926	11,460	41,361	△2,406	3,320	—
四半期利益		—	—	4,702	—	—	—
その他の包括利益		—	—	—	—	△1,668	△594
四半期包括利益		—	—	4,702	—	△1,668	△594
自己株式の取得		—	—	—	△3	—	—
自己株式の処分		—	0	—	0	—	—
剰余金の配当		—	—	△1,331	—	—	—
利益剰余金へ振替		—	—	△740	—	146	594
所有者との取引額等合計		—	0	△2,072	△3	146	594
2018年12月31日残高		9,926	11,460	43,991	△2,409	1,799	—

	注記	その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
		在外営業活動体の換算差額	合計			
2018年4月1日残高		△1,536	1,784	62,127	7	62,135
四半期利益		—	—	4,702	0	4,703
その他の包括利益		251	△2,011	△2,011	△0	△2,011
四半期包括利益		251	△2,011	2,691	0	2,691
自己株式の取得		—	—	△3	—	△3
自己株式の処分		—	—	0	—	0
剰余金の配当		—	—	△1,331	△0	△1,331
利益剰余金へ振替		—	740	—	—	—
所有者との取引額等合計		—	740	△1,334	△0	△1,335
2018年12月31日残高		△1,284	514	63,483	7	63,491

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位：百万円)

	注記	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
						その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定
2019年4月1日残高		9,926	11,460	44,768	△2,410	2,363	—
四半期利益		—	—	17	—	—	—
その他の包括利益		—	—	—	—	578	608
四半期包括利益		—	—	17	—	578	608
自己株式の取得		—	—	—	△3	—	—
自己株式の処分		—	0	—	0	—	—
剰余金の配当		—	—	△1,271	—	—	—
利益剰余金へ振替		—	—	567	—	41	△608
所有者との取引額等合計		—	0	△703	△3	41	△608
2019年12月31日残高		9,926	11,460	44,082	△2,413	2,983	—

	注記	その他の資本の構成要素		親会社に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
		在外営業活動体の換算差額	合計			
2019年4月1日残高		△1,285	1,078	64,824	7	64,832
四半期利益		—	—	17	0	17
その他の包括利益		△329	857	857	△0	857
四半期包括利益		△329	857	874	0	874
自己株式の取得		—	—	△3	—	△3
自己株式の処分		—	—	0	—	0
剰余金の配当		—	—	△1,271	△0	△1,271
利益剰余金へ振替		—	△567	—	—	—
所有者との取引額等合計		—	△567	△1,274	△0	△1,274
2019年12月31日残高		△1,614	1,368	64,424	7	64,432

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期利益		6,425	367
減価償却費及び償却費		3,026	3,879
受取利息及び受取配当金		△222	△225
支払利息		73	104
営業債権及びその他の債権 の増減額(△は増加)		2,505	3,785
棚卸資産の増減額(△は増加)		△2,368	△178
営業債務及びその他の債務 の増減額(△は減少)		△5,004	△1,553
その他		△409	△263
小計		4,024	5,914
利息の受取額		51	47
配当金の受取額		169	178
利息の支払額		△78	△104
法人所得税等の支払額		△2,835	△738
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,332	5,296
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出		△4,901	△2,950
無形資産の取得による支出		△1,766	△1,270
有形固定資産及び無形資産 の売却による収入		26	2
その他の金融資産の売却による収入		65	91
その他		△189	36
投資活動によるキャッシュ・フロー		△6,765	△4,089
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(△は減少)		3,951	582
長期借入による収入		2,987	2,000
長期借入金の返済による支出		△257	△706
自己株式の取得による支出		△3	△3
配当金の支払額		△1,329	△1,270
その他		△83	△435
財務活動によるキャッシュ・フロー		5,264	166
現金及び現金同等物に係る換算差額		△86	△222
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△255	1,150
現金及び現金同等物の期首残高		13,182	11,693
現金及び現金同等物の四半期末残高		12,926	12,844

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、IFRS第16号「リース」(以下、「IFRS第16号」という。)を適用しています。これにより、借手は原則としてすべてのリースについて、その資産の使用権である使用権資産と支払に伴う債務であるリース債務を連結財政状態計算書に計上しています。

当社グループは、当該基準の適用にあたって、経過措置として認められている累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。

この結果、IFRS第16号適用時に資産及び負債がそれぞれ2,627百万円増加しています。なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、税引前四半期利益、および四半期利益に与える影響は軽微です。

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、IFRS第16号を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討をおこなう対象となっているものです。

当社グループは、主に冷却ファン、電源機器、サーボモータを生産、販売しており、地域性を重視した戦略を立案し、グローバルに事業を展開しています。

報告セグメントは、事業展開する経済圏等の地域特性から、日本、北米、ヨーロッパ、東アジア、東南アジアの5つを報告セグメントとしています。なお、当該報告セグメントの決定に当たって、事業セグメントの集約はおこなっていません。

2 報告セグメントに関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注2)	連結
	日本	北米	ヨーロッ パ	東アジア	東南 アジア	計			
売上収益									
外部顧客への 売上収益	45,672	7,545	4,152	6,740	1,036	65,147	—	65,147	
セグメント間の 内部売上収益または 振替高(注1)	21,747	23	22	2,630	16,254	40,678	△40,678	—	
計	67,419	7,568	4,175	9,371	17,290	105,825	△40,678	65,147	
セグメント利益	4,169	457	370	494	751	6,243	△132	6,110	
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	389	
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	74	
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	6,425	

(注) 1. セグメント間の内部取引価格は一般的な市場価格に基づいています。
2. セグメント利益の調整額△132百万円は、セグメント間取引消去です。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注2)	連結
	日本	北米	ヨーロッ パ	東アジア	東南 アジア	計			
売上収益									
外部顧客への 売上収益	37,854	5,878	3,292	4,778	419	52,222	—	52,222	
セグメント間の 内部売上収益または 振替高(注1)	15,602	53	20	1,757	13,695	31,129	△31,129	—	
計	53,456	5,931	3,312	6,535	14,115	83,352	△31,129	52,222	
セグメント利益または 損失(△)	△551	23	200	116	318	107	271	379	
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	225	
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	238	
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	367	

(注) 1. セグメント間の内部取引価格は一般的な市場価格に基づいています。
2. セグメント利益の調整額271百万円は、セグメント間取引消去です。

前第3四半期連結会計期間(自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注2)	連結
	日本	北米	ヨーロ ッパ	東アジア	東南 アジア	計			
売上収益									
外部顧客への 売上収益	14,790	2,377	1,416	1,687	442	20,713	—	20,713	
セグメント間の 内部売上収益または 振替高(注1)	6,668	9	11	779	4,646	12,115	△12,115	—	
計	21,458	2,387	1,427	2,466	5,088	32,828	△12,115	20,713	
セグメント利益	932	96	115	54	143	1,341	62	1,404	
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	79	
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	184	
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	1,299	

(注) 1. セグメント間の内部取引価格は一般的な市場価格に基づいています。

2. セグメント利益の調整額62百万円は、セグメント間取引消去です。

当第3四半期連結会計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注2)	連結
	日本	北米	ヨーロ ッパ	東アジア	東南 アジア	計			
売上収益									
外部顧客への 売上収益	13,417	1,923	981	1,484	76	17,883	—	17,883	
セグメント間の 内部売上収益または 振替高(注1)	5,184	16	7	685	4,646	10,540	△10,540	—	
計	18,601	1,940	989	2,170	4,723	28,424	△10,540	17,883	
セグメント利益	357	24	22	39	131	577	△58	518	
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	135	
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	39	
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	614	

(注) 1. セグメント間の内部取引価格は一般的な市場価格に基づいています。

2. セグメント利益の調整額△58百万円は、セグメント間取引消去です。